

ST チューブ取扱説明書

製品名 / STチューブ Mシリーズ
製品番号 / CMS05, CMA05, CME05
CMV05

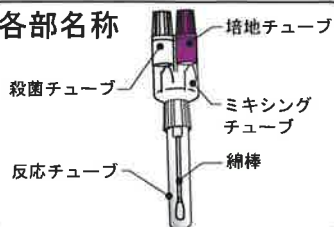
● Mシリーズ ツインタイプ(手指、食材、環境用)

商品内容

- ・ ST チューブ 100 本
- ・ 検体ラベル 100 枚
- ・ 取扱説明書 1 枚 (本紙)

(黄色ブドウ球菌用には4MUPディスク) 30枚が同梱されています。

各部名称



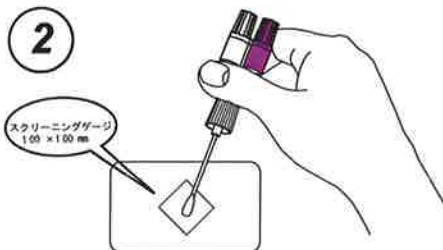
有効期限・保管について

- ・ 梱包箱を未開封状態で18ヶ月
 - ・ 4℃～15℃ 冷暗所保存
 - ・ 直射日光の当たらない場所で保管してください。
- ※開封後はできるだけ速やかに使用してください。

取扱い方法



綿棒を取り出す。



検体を綿棒の先でこする。その後、元の反応チューブに戻します。(乾燥している場合は、精製水で綿棒を湿らせてください。)スクリーニングゲージを使用すると、毎回一定面積を検査することができます。

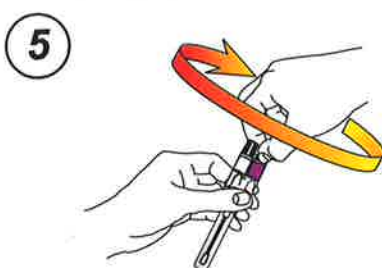


バージンシールをはがす。

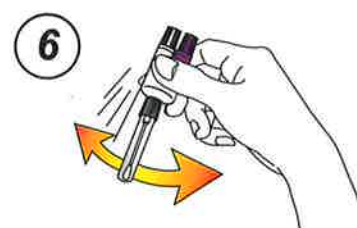
(バージンシールは簡単には本体より剥離しないようになっています。万一の異物剥離防止のため、バージンシールを無理に外さない様をお願いします。)



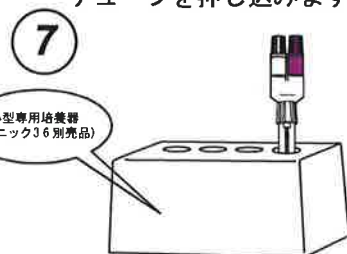
ミキシングチューブに培地チューブを押し込みます。



培地チューブを半周回す。

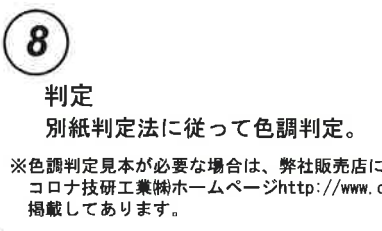


左右に軽く振り、液体培地を振り落とします。



培養器に入れ、菌を培養します。

培養条件：温度35℃～37℃
時間：12～24時間

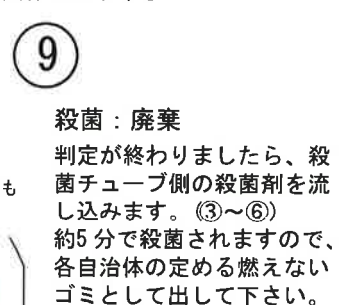
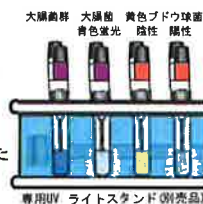


判定

別紙判定法に従って色調判定。

※色調判定見本が必要な場合は、弊社販売店に御問合せください。コロナ技研工業㈱ホームページ<http://www.coronagiken.co.jp>にも掲載してあります。

サルモネラ菌、腸炎ビブリオの場合は色調判定にて終了。
大腸菌と大腸菌群を鑑別する場合：陽性反応を呈したチューブをそのままUVライトスタンドに移して、蛍光発色の確認をする。
黄色ブドウ球菌の場合：陽性色(黄色)を呈したチューブに4MUPディスクを投入して、更に1時間培養後にUVライトスタンドに移して、発光の確認をする。



殺菌：廃棄

判定が終わりましたら、殺菌チューブ側の殺菌剤を流し込みます。(③～⑥) 約5分で殺菌されますので、各自治体の定める燃えないゴミとして出して下さい。

取扱い上の注意・その他

- ⚠ 本製品を用いた検査方法は菌が存在する可能性を調査するスクリーニングが目的であり、自主検査の範囲内のものです。同定が必要な場合には、検査機関に依頼して下さい。
- ⚠ アルミシールが破れた後のSTチューブは内容液が漏れる可能性がありますので、必ず廃棄までスタンド等に立てて保管してください。
- ⚠ 別売の小型培養器、及び、UVライトスタンドは100V仕様です。日本国内でのみ使用できます。
- ⚠ 菌のスクリーニング以外の用途には使用しないで下さい。この使用目的以外の用途によるトラブルには、当社は一切責任を負えません。
- ⚠ 小児の手の届かないところで保管してください。
- 製品の改良のために予告なくデザイン、使用等を変更する場合があります。予めご了承ください。
- 製品の品質には留意しておりますが、万一製品に異常が生じた場合には、購入先にご連絡ください。